

第25回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	平成28年2月12日（金） 県庁4階大ホール		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員長 中村和之（富山大学経済学部長） 委員 伊藤始（富山県立大学工学部准教授） 委員 大石貴之（弁護士） 委員 彼谷環（富山国際大学子ども育成学部教授） 委員 前田陽子（税理士）		
次第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 平成27年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 平成27年度上半期の一位不働入札、落札率100%入札、一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 平成27年度上半期の低入札状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	平成27年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：817件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	（事案1） 新富山県立近代美術館（仮称）新築工事
	1億円以上	1件	（事案2） 中川水系沖田川河川総合交付金放水路第4工区工事
	2千万円以上	3件	（事案3） 神通川水系白谷川砂防総合交付金（砂防）堰堤基礎工工事
			（事案4） 主要地方道富山戸出小矢部線道路総合交付金上部工工事 （事案5） 小水力受託 庄西幹線用水地区 管路第3工区工事
指名競争入札		4件	（事案6） 主要地方道氷見田鶴浜線道路総合交付金舗装新設工事 （事案7） 主要地方道葦輪滑川インター線県単独交通安全施設等整備防護柵設置第1工区工事 （事案8） 主要地方道朝日宇奈月線県単独道路維持修繕側溝修繕工事 （事案9） 地すべり防止 味川 地表排水ボーリング工事
随意契約		1件	（事案10） 和田川浄水場 次亜製造装置電極等修繕工事
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問		回 答
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会としての意見	平成27年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、総合評価はどのように行われているのか。</p>	<p>総合評価については、入札価格、施工能力、地域性・社会性及び技術提案等により行っており、「標準型」における技術提案については、過去の事例を踏まえて「優」・「良」・「標準」・「不可」の4段階に分けて評価を行っている。今後とも評価結果の検証等に努めて参りたい。</p>
<p>○事案2の工事について、1者入札となっているが、入札参加条件に該当する業者数が少ないのではないか。</p>	<p>入札参加条件に該当する業者は65者おり、業者数が少なかったとは考えていない。</p>
<p>○事案2の工事について、変更契約の理由は何か。また、変更契約により減額となったのに、工期が延長されているのは何故か。</p>	<p>海底から撤去を要する海岸部の既設消波ブロックの数について、現地掘削の結果、当初の想定よりも少ない(約800→300)こと等が判明し、減額したもの。 また、漁業への影響を考慮し、同一地内における別の工事を先行して実施する必要が生じたため、当該工事の工期を延長したもの。</p>
<p>○事案3の工事について、総合評価方式の評価項目である企業の地域性・社会性はどのように評価しているのか。</p>	<p>企業の災害協定への参加、除雪業務の受託実績を評価するとともに、品質確保の観点から、施工箇所の地形・地質等の自然条件や交通状況などの地域事情に精通した地元企業をより高く評価することとしている。</p>
<p>○事案7の工事について、各業者の入札額の差が少ないが、要因は何か。</p>	<p>県の積算歩掛・労務資材単価が公表されていることから、各業者の入札価格が近い金額になったのではないかと推測される。</p>
<p>○事案8の工事について、低入札調査の結果、今回の入札価格により受注させても履行できると判断した根拠は。</p>	<p>工事現場が会社から近くにあり、現場事務所の設置が不要であること、近隣の自社所有地に資材を置けること等から経費が削減でき、また、同様の工種工事の実績があること等から、品質・安全確保ができると判断したもの。</p>